

コンサルテーション事業報告

事業の名称	防災教育開発支援	事業代表者	谷口 和也
対象	①小・中・高校の教員の研修、子どもを対象とした防災教育実践。 ②市民センターや地域住民に対する防災教育計画の開発支援。 ③社会福祉協議会や医療関係者との連携による防災啓蒙教育。		
目的	①各校の実情に合わせた防災教育のカリキュラムの開発、提供、実施およびそれに伴う教員研修を行うこと。 ②住民対象の防災教育、および世代間交流による防災教育のカリキュラムを開発、実施し、啓蒙に努めること。また、これに伴う地域住民等対象のシンポジウム等の企画を行うこと。 ③社会福祉協議会や医療関係者と協力し、子どもや高齢者等の防災に関する啓蒙家教育を行うこと。		
実施日	・2015年6月…日赤、包括支援センター ・2015年8月…仙台市立中田中学校教員 ・2015年10月…仙台市立八木山南小学校八木山小学校、八木山中学校 ・2015年10月…八木山地区住民 ・2015年12月…地域防災シンポジウム	実施回数	
		昨年度実績で14回 (のべ1,050人)	
実施場所	仙台市立八木山小学校、八木山南小学校、八木山中学校、中田中学校、八木山市民センター、東北工業大学、仙台赤十字病院、仙台市教育センター、宮城県社会福祉協議会		
主なスタッフ	【研究科内】 谷口和也、斉藤仁一朗、漆畑俊晴 (M2)、中村和人 (M1)、王語芯 (M1) 【外部スタッフ】 田中礼治 (日本津波建築研究会)、菊池良覺、伊藤美由紀、中井周作 (東北工業大学)、並河浩一 (八木山市民センター)、北純 (仙台赤十字病院)	人数	
		11人	
スタッフの活動内容	【今年度の活動内容の分担】 ①谷口和也、斉藤仁一朗、漆畑俊晴 (M2)、中村和人 (M1)、王語芯 (M1)、中井周作 (交通行動分析) は、学校対象の防災教育の実践開発を行う。 ②谷口和也、田中礼治 (建築構造)、菊池良覺 (地域デザイン)、並河浩一 (市民センター) は、地域住民対象の防災教育の実践開発を行う。 ③谷口和也、伊藤美由紀 (広域看護学)、北純 (日赤) は、小さな子供のいる保護者や高齢者対象の防災啓蒙教育の実践開発を行う。		

平成27年度実績報告

平成27年度 活動実績	5月16日 八木山防災連絡会（総会）での発表（八木山市民センター）
	6月13日 谷口和也「市民性教育としての防災教育—防災教育のアクティビティ—」日本公民教育学会（ラウンドテーブル3 東日本大震災からの復興支援）（高千穂大学・東京）
	6月13日 日赤、包括支援センターと共同で高齢者向け事業（仙台赤十字病院）
	6月20日 八木山地区の防災教育に関する打ち合わせ（八木山市民センター）
	7月11日 八木山地区の防災教育に関する打ち合わせ（八木山市民センター）
	7月25日 下記10月3日の講演会についての打合せ（ガーデン・パレス）
	10月3日 東北PTA研究大会での講演（第5分科会・亙理中学校）
	10月19日 24日の防災教育に関する打ち合わせ（八木山小学校）
	10月24日 八木山地区住民及び小学生向けの防災教育実践（八木山小学校）
	11月27日 NHKラジオ出演（地域防災についてのコメント）
	12月2日 八木山地区の避難所運営委員会へのアドバイス
	12月12日 「地域防災シンポジウム in 八木山」の開催（八木山市民センター）
	3月7日 次年度の住民一体型防災教育についての打合せ（八木山中学校）
	3月12日 仙台未来防災フォーラム参加（東北工業大学と合同・国際センター）